

取組の概要

取組の概要 : 集出荷貯蔵施設を核にした露地野菜の産地形成の推進
 計画作成主体 : 渋川市農業再生協議会
 対象品目 : 露地野菜(キャベツ、レタス、ネギ、タマネギ、ホウレンソウ、ブロッコリー) (産地面積: 37.2ha)
 主な取組主体 : 赤城橘農業協同組合
 成果目標 : 販売額を10%以上増加
 助成金の活用 : 整備事業(集出荷貯蔵施設)
 状況 : 生産支援事業(パイプハウスの建設、機械のリース導入)

ポイント

集出荷貯蔵施設の建設及びパイプハウスの導入により地域農業の活性化を図り、販売額の10%以上の増加を目指す。

- 集出荷貯蔵施設
 - ・建物1棟520㎡
 - ・真空予冷装置(1チャンバー4パレット)
 - ・保冷库110㎡(処理能力1,040t/年)
- パイプハウス13棟
- 機械リース

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

【作付面積25.6ha、販売額0.82億円】
 キャベツ7.7ha、レタス2.8ha、ネギ5.85ha、タマネギ3.85ha、ホウレンソウ3.5ha、ブロッコリー1.9ha

〈目標:R2年度〉

【作付面積37.2ha、販売額1.17億円】
 キャベツ11ha、レタス5.6ha、ネギ7.7ha、タマネギ6.1ha、ホウレンソウ4.67ha、ブロッコリー2.15ha



推進体制

JA赤城たちばなと生産者が主体となって事業を推進し、渋川市、県農業事務所、その他農業関係者がサポートする。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○担い手確保を図るため毎年、就農支援講座を開講

〈群馬県・渋川市単独事業〉

○「野菜王国・ぐんま」推進計画による担い手が育つ儲かる野菜経営と活力ある野菜産地の実現。
 ○「渋川市選別農薬農法」によるしぶせんブランドの販売・利用。

事業効果

○集出荷貯蔵施設の建設に伴い、真空予冷装置及び保冷库が整備され、今まで出荷できなかった農作物を出荷することができる。新鮮な農作物の販売が可能となり、販売額の増加を図る。
 ○パイプハウスや機械のリース導入により生産の効率化を行い、農業者の所得向上及び農業生産の拡大を図る。

～露地野菜合計販売額～

